らんこし

Rankoshi

2019 3 March

No.763

主な内容

■ 第19回統一地方選挙が4月に行われます ‥‥1
■ まちの話題 ‥‥3
■ いる人きた人トーク ‥‥9
■ 蘭越町世代別保健事業年間予定表 ‥‥11
■ 蘭高通信（VOL.44） ‥‥14
■ こぶしにまなぶ ‥‥15
ほか

▲3月1日　北海道蘭越高等学校「第53回卒業証書授与式」。
3年間の思い出を糧に、一人ひとりそれぞれの夢と希望が膨らむ新たな人生が、今、始まります。

広報らんこし
3月号
●発行日/平成31年3月15日●通算/763号●発行/蘭越町●住所/〒048-1392北海道磯谷郡蘭越町蘭越町258-5(TEL0136-57-5111)●編集/総務課広報広聴係●印刷/㈱総北海
●ホームページ http：//www.town.rankoshi.hokkaido.jp/
●Eメール kouhou@town.rankoshi.lg.jp

わがやのアイドル

名　　前　増田　結仁（ゆうと）ちゃん　0歳9カ月
生年月日　平成30年6月13日
ご 両 親　光希さん、志穂美さん
出会いを大切にし、人との結びつきが良く他人を思いやるという字の意味を込めて名づけました。マイブームはリモコンで遊ぶこと。食べ物はなんでもよく食べますが、特にごはんが大好きです。
お子さんへのメッセージ　何でもたくさん食べて、すくすく、ぷくぷく大きくなってきたね！これからも笑顔いっぱいのゆうとでいてね！

～蘭越ひばり幼稚園～

ちびっこぎゃらりー

作品「いととおしでぼうし」

（きく組）

しひかわ　はるひとくん（6さい）
きたの　しゅりちゃん（6さい）
ふくむら　ゆわくん（6さい）

海のプラスチックゴミ 2050年には魚類の総重量を上回る

海のプラスチックのゴミのうち、サイズが5ミリ以下のものをマイクロプラスチックと言います。海のプラスチックゴミについて、初めて論文上で議論されたのは2004年で、それ以降、海洋中に漂うプラスチックゴミが注目されてきました。プラスチックは、適切な処理をしなければ、ゴミとして自然界へ排出されます。最終的には、海へたどり着いて、波の摩擦や紫外線等で劣化して砕けます。サイズか大きなものでも最終的に、マイクロプラスチックになり、海洋を漂います。

鳥類やウミガメ類は、プラスチックゴミを餌と勘違いして食べることが知られています。そして、体内で分解されず、内蔵に蓄積したプラスチックは、体を浸食し、死へのリスクを高めます。また、マイクロプラスチックには、有害な化学物質が付着することが知られており、生態系のなかで生物濃縮し、人の口へ入ります。

年間約800万トンのプラスチックゴミが海洋に流出していると言われており、2050年には、海洋中に漂うプラスチックゴミの総重量が魚類の資源量の総重量を上回ると言われています。

写真は、港町の海岸に打ち上げられた大型プラスチックゴミと（写真1）、プラスチックの破片です（写真2）。マイクロプラスチックは、様々な形状や色で存在し、それぞれで20以上に区別されています。

普段は見捨てられがちなゴミですが、海岸に立ち寄った際には、プラスチックゴミに注目し、地球環境について考えてみてはどうでしょうか。

◁（写真1）港町の海岸に打ち上げられた漁業用プラスチックゴミ。

▷（写真2）港町の海岸で拾った小さなプラスチックゴミ（格子は10ミリ）。

VEGETABLE OIL INK